

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	大丸ゆうし保育園
活動日時	2025年3月14日
クラス名(年齢)	ぶどう組(5歳児)
年間テーマ	自然

1. 活動のテーマ

<テーマ>

里山での発見⑤

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

生き物への興味が広がり、公園や園庭でもよく生き物探しをしている年長さん。里山でカエルの卵を発見し、観察している姿が見られたので、顕微鏡を使って観察することにした。

2. 活動スケジュール

- ・里山でカエルの卵を発見する。
- ・卵を保育園に持ち帰り、顕微鏡で観察する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

- ・カエルの卵
- ・電子顕微鏡

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・里山でカエルの卵を発見し、保育園に持ち帰る。
- ・容器に入ったカエルの卵を観察する。
- ・顕微鏡を使って、カエルの卵を拡大しじっくり観察する。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<ul style="list-style-type: none"> • 里山で子ども達が池にカエルの卵がある事を発見した。「これを持って帰って観察したい」と言っていたので少しだけ持って帰る。 • 電子顕微鏡がある事を伝えると、「なにこれ」と興味津々で使い方を聞いていた。 • 使い方が分かると後から来た友達にも「ここを回して調節するんだよ」と教えていた。 • 自分達で見えるようにピントと場所を合わせカエルの卵が大きく見えるようにしていた。 「この黒いのが卵だ。まだ足や頭見えないね」と話しながら観察していた。「指はどうやってみえるのかな」と「指やお鼻も見てみようよ」といろいろな物を大きくして観察していた。 	   

5. 振り返り <振り返りによって得た保育者の気づき>

以前から保育園でカブトムシやカマキリ、カメなど様々な生き物を飼っていた経験もあり、生き物への興味が強かったので、子どもたちから「飼ってみたい」という話が出てきた。観察していく中で一台の顕微鏡を友達と交代で使って観察し、使い方を教え合ったり、カエルの体に関する発見を共有したりする姿が見られ、より生き物への興味が強まっているように感じた。今後もカエルの成長を見守っていき、顕微鏡での観察も続けていきたいと思う。